

# 教育研究業績書

2022年11月07日

所属：国際健康開発研究所

資格：教授

氏名：家森 幸男

研究分野	研究内容のキーワード
実験動物学、食生活学、応用ゲノム科学、食品科学、栄養生理学、人類遺伝学、実験病理学、公衆衛生・健康科学、循環器内科学	予防栄養医学、生活習慣病予防、高血圧、脳卒中、動脈硬化症、病理学の病態生理学、疫学、栄養介入研究、高血圧関連疾患モデル、遺伝子解析、遺伝・環境相関、食育、健康教育
学位	最終学歴
医学博士	京都大学大学院 医学研究科 博士課程 修了

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
2 作成した教科書、教材		
1. 「食事バランスガイド」を利用した生徒による児童への食育効果	2007年03月	高校生が小学生に教える食育活動を実施。食事バランスガイドと使い、食べ物の働き、一日の食事バランスなどを考える授業を行い、尿データをもとに効果を客観的に確認した結果を報告。食育授業に活用できる。WHOの協力を得て世界25カ国・61地域を調査し長寿の因子について科学的に解明してきた。ヨーグルトと免疫力の関係や魚と心筋梗塞予防など、食・健康・長寿の密接な関係について紹介し”長寿の謎”を解き明かしていく。 高校生による食堂メニュー改善プロジェクトを実施。バランスの良い新メニューのエビデンスを得、結果をもとに中学高等学校の食堂メニューに「美・LUNCH」と題して新メニューが登場することになった結果をまとめた。
2. 知るを楽しむ この人この世界 ～長寿の謎を解く～ (DVD)	2007年11月	
3. 高校生による食堂メニュー改善プロジェクト	2008年03月	
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
1. 今、話題のカスピ海ヨーグルトのこと詳しく知りたい!	単	2003年	主婦と生活社 「Mrs. Living」	
2. ヨーグルトブームの裏側で多発するカスピちゃん「虐待事件簿」		2003年	毎日新聞社「サンデー毎日」	
3. 村上和雄の【生命(いのち)の謎に迫る】人は遺伝子支配から脱することができるか	単	2003年	F Ace「船井メディア」	
4. 長寿は食から 海藻	単	2003年	日本放送出版協会	



研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>1 著書</b>				
5. 長寿は食から 魚介がもつパワー	単	2003年	理 日本放送出版協会 「NHKきょうの料理」	
6. 健食イキイキまんぼ 更年期障害の緩和を体感 日本の伝統食品素材・大豆イソフラボンが、これからの高齢社会の一助になる	単	2003年	食品化学新聞社 「FOOD STYLE 21」	
7. 納得！食の健康術 “酢” が血圧を下げる！	単	2003年	日本放送出版協会 「NHKきょうの健康」	
8. ガンボケ退治から京美人に大変身する美肌術まで知恵と伝統の宝庫《京都》は名医どすえ ガン、脳卒中から骨粗鬆症まで防ぎ治す京料理はすばらしい健康長寿食だった	単	2003年	マキノ出版「壮快」	
9. “主婦タリ” 撃退1週間でここまでやせた カスピ海ヨーグルトでおなかすっきり肌もきれいに	単	2003年	主婦と生活社「別冊すてきな奥さん」	
10. 賢く食べれば元気に生きられる	単	2003年	かがわ出版「ミドルエイジからのお食事」おむすびの会	
11. 骨粗鬆症や食中毒を予防 高血圧が改善 食酢がもたらす計り知れない健康効果	単	2003年	マキノ出版「安心」	
12. 長寿は食から 大豆がもつパワー	単	2003年	日本放送出版協会 「NHKきょうの料理」	
13. もうブームじゃ終わらない 毎日食べるヨーグルト	単	2003年	読売新聞社「読売ライフ」	
14. “食事の力” が世界を変える！ 健康的にいきいき長生きする秘訣	単	2003年	ダイアナ健康研究所「D-N-Aディーナ」	
15. 「カスピ海ヨーグルト」が誰でも作れる！	単	2003年	芝パーク出版 「Saita」	
16. 健全な食生活に最大の効果あり！	単	2003年	F Ace「船井メディア」	
17. Healthier world by traditional diets -Can we overcome genes?	単	2003年	Annual Report of Japan-German Institute	
18. Lessens from longevous diets in the world for overcoming life	単	2003年	Nestle Health Promotion Association	

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>1 著書</b>				
style				
19. Lifestyle related diseases in longevous populations	単	2003年	Gerontology	
20. 自分でできるすぐできる 高血圧を下げる知恵とコツ	単	2003年	主婦の友社	
21. For healthier long living society — Japanese traditional diets and Caspian yogurt	単	2003年	ACADEMIA, The University Alumni Association of Japan	
22. 骨を丈夫に、腸から元気に、免疫調整にも期待が… 効き目アップ! カスピ海ヨーグルト最新決定版Book	単	2003年	株式会社学習研究社 「Bagel (ベーグル)」	
23. ごはんで作る健康な体 PART II ごはんの持つパワーを探る	単	2003年		
24. 100歳まで生きる! 長寿村の長寿食	単	2003年	一個人	
25. 長寿は食から 緑黄色野菜がもつパワー	単	2003年	日本放送出版協会 「NHKきょうの料理」	
26. 腸すっきりボディー 「カスピ海ヨーグルト+豆乳+粉ミルクで“最強カスピ君”を作ろう!	単	2003年	BP出版センター 「日経ヘルス」	
27. ナッツ類が多く含まれる脂質成分が、コレステロールをふやすことなく脳血管を強化してくれます 「自分でできるすぐできる コレステロールを下げる知恵とコツ」	単	2003年	主婦の友社「目で見る健康ブックス」	
28. からだにいいものおいしく食べよう! イソフラボンを知ってる?	単	2003年	角川書店「週間東京ウォーカー」10/7号	
29. 長寿は食から 雑穀がもつパワー	単	2003年	日本放送出版協会 「NHKきょうの料理」	
30. 新発見! これが最強ヨーグルト カスピ海ヨーグルトの乳酸菌は美肌効果が大きく、食べればシミも薄れる人が多い	単	2003年	わかさ出版「わかさ」	
31. ボケない脳の作り方 脳の栄養失調がボケを招く「脳卒中」は食事で防げる!	単	2003年	講談社「オブラ」	
32. 循環器病予防の食事	単	2003年	食育を考える会事	

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>1 著書</b>				
指導 DIET THERAPY			務局	
33. カスピ海ヨーグルトは豆乳で作れば一段と味がよく、血液の浄化、骨の強化、美肌に効果大と女性に大評判	単	2003年	わかさ出版「わかさ」	
34. 栄養養生一食はいのち	単	2003年	学校法人行吉学園「食物と健康」春号	
35. 元気が出る食の本 取り入れたいポイントがいっぱい世界の長寿食の秘密	単	2003年	オレンジページ「元気がでるからだの本特別編集」	
36. お金もちになれる吉川流スーパー料理術 吉川さんの仕事は神業	単	2003年	主婦と生活社	
37. 世界の長寿国研究で見つけた美肌づくりの特効薬 豆乳入りカスピ海ヨーグルト	単	2003年	わかさ出版「わかさ」	
38. マサイ戦士のカラダを目指し、スリムと元気を手に入れよう	単	2003年	マガジンハウス「Tarzan」	
39. 目指せ！ヘルシーライフドクターヤモリが世界から 長寿の秘訣 食事でリラックス	単	2003年	財団法人兵庫県健康財団「プレベ」	
40. 目指せ！ヘルシーライフドクターヤモリが世界から 食で世界を健康に「ゲノムプラス」の新時代の健康法	単	2003年	財団法人兵庫県健康財団「プレベ」	
41. DASH (Dietary Approach to Stop Hypertension)	単	2003年	メディカルレビュー社「臨床高血圧」	
42. コレステロール・中性脂肪を下げる100のコツ 適量のアルコールは善玉コレステロールをふやし、血管を動脈硬化から守ってくれます。		2004年	主婦の友社「主婦の友ベストBOOKS」	
43. 島根県支部講演会～世界に学ぶ長寿食～寝たきり、痴呆を防ぐ知恵～。	単	2004年	日本糖尿病協会島根県支部「くろまつ」	
44. '03話題の健康法 読者成功ランキング 第1位カスピ海ヨーグルト。	単	2004年	株式会社学習研究社「Bagel (ベーグル)」	
45. 長寿は食から ごまがもつパワー。		2004年	日本放送出版協会「NHKきょうの料理」	
46. 長寿は食から ドライフルーツがもつパ		2004年	日本放送出版協会「NHKきょうの料	

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>1 著書</b>				
ワー、			理]	
47. 長寿は食から 納豆がもつパワー、		2004年	日本放送出版協会「NHKきょうの料理」	
48. 血液をきれいにして病気を治す本～血液をきれいにして血管を若返らせる日常生活の改善法、		2004年	主婦の友社「主婦の友ベストBOOKS」	
49. 長寿食、		2004年	日本放送出版協会「NHKきょうの健康」	
50. 日本の伝統食と世界の健康 シリーズ「転換期の医学」第1巻		2004年	岩波書店	
51. マサイ民族が高～く跳べる秘密は植物性乳酸菌だった！		2004年	小学館「女性セブン」	
52. 大豆イソフラボン		2004年	小林製薬株式会社「からだ情報 すこぶる」	
53. 大豆イソフラボンって何？		2004年	株式会社ファンケル「元気生活」	
54. 健康長寿のための食生活		2004年	？日本消化器病学会「消化器ナウ」	
55. 何を食べれば「予防医学」になるか。「長寿の食事」を医学的に証明する		2004年	ユーリーグ株式会社「いきいき」	
56. 保存版カスピ海ヨーグルトBOOK		2004年	制作・協力フジッコ株式会社	
57. 「長寿のためなら死ぬ」と情熱を燃やし380日間、24時間尿を集めながら、地球を3周		2004年	NTT Solco「Solco W@ve」	
58. 快食・快便が寝たきりを予防する		2004年	有) 風人社「タバダス」	
59. 健康長寿日本一の和良村に学ぶ		2004年	？岐阜県健康長寿財団「長寿の秘訣 お元気高齢者に学ぶ」	
60. 男性長寿ナンバーワンの秘訣がわかった季刊		2004年	株式会社編集工房遊「いこい」	
61. 日本人の食生活と欧米化と健康		2004年	近代科学社「若い時に知っておきたい運動・健康とからだの秘密」	
62. 目指せ！ヘルシーライフドクターヤモリが世界から「健康づくり検診」のすすめ		2004年04月	財団法人兵庫県健康財団「プレベ」	
63. 目指せ！ヘルシーライフドクターヤモリが世界から 一日一膳		2004年07月	財団法人兵庫県健康財団「プレベ」	

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>1 著書</b>				
64. 粉末種菌から作る！牛乳を足してどんだん増える カスピ海ヨーグルトでおいしい！楽しい！おなかスッキリ！		2004年07月	主婦と生活社「週間女性」	
65. 健康寿命をのばす～血管・骨・腸を若々しく～ はっ酵乳のとり方.		2004年11月	株式会社法研「健康日本21リーフレット栄養・食生活」	
66. 高血圧は万病のもと		2005年	株式会社ミツカン（社団法人日本栄養士会協力）「お酢のチカラ」	
67. βカロテンたっぷり！トルファン（シルクロード）料理のアレンジレシピ		2005年10月	ヘルスアンドライフ	
68. Fatty acids induce tight junctions in brain capillary endothelial cells	共	2006年	ELSEVIER	Yamagata K, Tagami M, Nara Y, Itoh S, Yokogoshi H, Yamori Y
69. エイジングの生活習慣改善による予防	共	2006年	診断と治療社	家森幸男、森真理、山岡節子、森英樹
70. メタボリックシンドロームのモデル動物 自然発症メタボリックシンドロームモデル動物	共	2006年	日本臨牀, 64	池田克己、安井菜穂美、山本潤子、奈良安雄、家森幸男
71. イソフラボンの健康機能性と摂取目標	単	2006年	FOOD STYLE 21	
72. 健康食としての日本型食事の特徴—世界調査でわかった抗肥満、抗動脈硬化作用	単	2006年	臨床栄養	
73. Soy for “Health for All” -Message from WHO CARDIAC study and dietary intervention studies	単	2006年	Florida, Taylor & Francis	
74. 知るを楽しむ—長寿の謎を解く	単	2006年12月	NHK出版	
75. 110歳まで生きられる！脳と心で楽しむ食生活	単	2007年	NHK出版	
76. 「長寿食」世界探検記	単	2007年11月	筑摩書房	
77. WHOの疫学研究-世界からみた長寿の栄養因子	単	2008年	メディカルレビュー社	
78. 内蔵脂肪蓄積と食品機能成分:特にスローカロリーシュガーについて—日本人の食生活と砂糖;新しい糖, スローカロリーシュガー	共	2008年		森真理、森英樹、家森幸男
79. 食でつくる長寿力	単	2008年10月	日本経済新聞出版	

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>1 著書</b>				
80. 家森教授の病気にならない食べ物便利帳	単	2008年11月	社 大和書房	森 真理, 森 英樹, 家森幸男 食品機能素材, IV, シーエムシー出版
81. 世界の健康は食育から－WHO世界調査から学ぶ	単	2009年	NPO法人日本食育協会	
82. 長寿食とは－WHO国際共同研究の成果から	単	2009年	金芳堂	
83. 食的長壽力	単	2009年08月	財信出版有限公司	
84. 大豆イソフラボン	共	2010年		
85. 世界調査からみた健康長寿の食生活－アポリジニから学ぶ	単	2010年	ANTI-AGING MEDICE, Vol.6 No. 4, メディカルレビュー社	
86. 遺伝子が喜ぶ 長生きごはん	単	2010年11月	朝日新聞出版	
87. 世界調査でわかった究極の長寿食	単	2011年	日本綿業倶楽部月報, 702号	
88. WHO疫学研究－世界の循環器疾患の栄養因子－	単	2011年	NAVIGATOR 高血圧ナビゲーター：メディカルレビュー社	
89. ついに突きとめた究極の長寿食	単	2011年02月	株式会社洋泉社	
90. 世界一長寿な都市はどこにある？	単	2011年08月	岩波書店	
91. 大豆は世界を救う(改訂版)	単	2012年03月	株式会社法研	
<b>2 学位論文</b>				
<b>3 学術論文</b>				
1. Determinants of hyperleptinaemia in an African population.	共	2003年	East African Medical Journal.	Njelekela, M., Kuga, S., Hiraoka, J., Masesa, Z., Ntogwisangu, J., Mashalla, Y., Ikeda, K., Mtabaji, J., Nara, Y., Yamori, Y., Tsuda, K.
2. Sphingosine 1-phosphate induces the production of glial cell line-derived neurotrophic factor and cellular proliferation in astrocytes.	共		Glia.	Yamagata, K., Tagami, M., Torii, Y., Takenaga, F., Tsumagari, S., Itoh, S., Nara, Y
3. Effects of dietary intake of soy protein and isoflavones on cardiovascular disease risk factors in high risk, middle-aged men in Scotland, Cardiovascular risk reduction by soy.	共	2003年	J Am Coll Nutr.	Sagara, M., Kanda, T., Njelekera, M., Teramoto, T., Armitage, L., Birt, N., Birt, C
4. Antioxidant	共	2003年	Toxicology.	Ikeda, K., Negishi, H., Yamori, Y.: Antioxidant nutrients



研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>3 学術論文</b>				
nutrients and hypoxia/ ischemia brain injury in rodents.				and hypoxia/ ischemia brain injury in rodents.
5. Tea polyphenols regulate nicotinamide adenine dinucleotide phosphate oxidase subunit expression and ameliorate angiotensin II-induced hyperpermeability in endothelial cells.	共	2003年	Hypertens Res.	Ying, C., Xu, J., Ikeda, K., Takahashi, K., Nara, Y.
6. F株の混合培養によるヨーグルトを配合した飲料の便性改善効果.	共	2003年	食品・食品添加物研究誌. FFIジャーナル	寺本貴則, 戸田登志也
7. Isolation of a chromosome 1 region affecting blood pressure and vascular disease traits in the stroke-prone rat model.	共	2003年	Hypertention.	Kato, N., Nabika, Toru, N., Liang, Y., Mashimo, T., Inomata, H., Watanabe, T., Yanai, K., Yamori, Y., Yazaki, Y., Sasazuki, T.
8. Pharmacological studies of alcohol susceptibility and brain monoamine function in stroke-prone spontaneously hypertensive rats (SHRSP) and stroke-resistant spontaneously hypertensive rats (SHRSP).	共	2003年	J Exp Med Tohoku.	Yoshimoto, K., Komura, S., Hattori, H., Yamori, Y., Miura, A., Yoshida T., Hiroki, C., Kato, B., Fukuda, F., Tanaka, S., Hirai, A., Nishimura, A., Sawai, Y., Yasuhara, M.
9. 長寿地域での生活習慣—世界調査から学ぶ—.	単	2003年	Gerontology.	
10. ProbucoI decrease mevalonate pyrophosphate decarboxylase in the rat.	共	2003年	Biol Pharm Bull.	Michihara, A., Sawamura, M., Akasaki, K., Tsuji, H.
11. Pharmacological studies of alcohol susceptibility and brain monoamine function in stroke-prone spontaneously hypertensive rats (SHRSP) and	共	2003年	J Exp Med Tohoku.	Yoshimoto, K., Komura, S., Hattori, H., Miura, A., Yoshida, T., Hioki, C., Kato, B., Fukuda, F., Tanaka, S., Hirai, A., Nishimura, A., Sawai, Y., Yasuhara, M

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>3 学術論文</b>				
stroke-resistant spontaneously hypertensive rats (SHRSR)				
12. SHRSPアストロサイトにおけるGDNFの発現変異	共	2003年		Yamagata, K., Tagami, M., Ikeda, K., Nara, Y.,
13. 世界の食事と生活習慣病	単	2003年	農芸科学誌	
14. Nutritional variation and cardiovascular risk factors in Tanzania ? rural-urban difference	共	2003年		Njelekela, M., Sato, T., Nara, Y., Miki, T., Kuga, S., Noguchi, T., Kanda, T., Yamori, M., Ntogwisangu, J., Masesa, Z., Mashalla, Y., Mtabaji, J.,
15. Subcellular distribution of mouse mevalonate pyrophosphate decarboxylase	共	2003年	Biol Pharm Bull.	Michihara, A., Akasaki, K., Tsuji, H.
16. Change in the protein level of mevalonate pyrophosphate decarboxylase in tissues of mouse by pravastatin.	共	2003年	Biol Pharm Bull.	Michihara, A., Akasaki, K., Tsuji, H.
17. Probuco decrease mevalonate pyrophosphate decarboxylase in the rat.	共	2003年	Biol Pharm Bull.	Michihara, A., Sawamura, M., Akasaki, K., Tsuji, H.
18. Genome-wide searches for blood pressure quantitative trait loci in the stroke-prone spontaneously hypertensive rat of a Japanese colony.	共	2003年	J Hypertens.	Kato, N., Mashimo, T., Nabika, T., Cui, Z., Ikeda, K.
19. Polyunsaturated fatty acids induce tight junctions to form in brain capillary endothelial cells.	共	2003年	Neuroscience.	Yamagata, K., Tagami, M., Takenaga, F., Nara, Y., Itoh, S.
20. Peroxisome proliferative drugs do not induce an increase of rat mevalonate pyrophosphate decarboxylase.	共	2003年	Biol Pharm Bull.	Michihara, A., Sawamura, M., Akasaki, K., Tsuji, H.
21. Estimation of hydroxyl radicals based on the	共	2003年	Adv Exp Med Biol.	Negishi, H., Ikeda, K., Nara, Y.

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>3 学術論文</b>				
salicylate trapping method in hippocampus of stroke-prone spontaneously hypertensive rats (SHRSP) during transient ischemia and recirculation.				
22.大豆イソフラボン含有タブレットの摂取が中高年女性の尿中骨吸収マーカー量に及ぼす影響.	共	2004年	健康・栄養食品研究	北田好男, 松本剛, 森真理, 池田克巳
23.大豆イソフラボン. 「医療従事者のための完全版機能性食品(サプリメント)ガイド」(吉川敏一、辻智子編)	単	2004年	講談社	
24.大豆イソフラボン(特集:アンチエイジングの新しい動向①-サプリメントを中心に-).	共	2004年	Geriat.med.	森真理, 森英樹
25.Upregulation of endothelial nitric oxide synthase by cyanidin-3-glucoside, a typical anthocyanin pigment.	共	2004年	Hypertension.	Xu, J., Ikeda, K.
26.Cyanidin-3-glucoside regulates phosphorylation of endothelial nitric oxide synthase.	共	2004年	FEBS letters.	Xu, J., Ikeda, K.
27.Effect of a $\gamma$ -aminobutyric acid-enriched dairy product on the blood pressure of spontaneously hypertensive and normotensive Wistar-Kyoto rats.	共	2004年	Br J Nutr.	Hayakawa, K., Kimura, M., Kasaha, K., Matsumoto, K., Sansawa, H.
28.肥満・高血圧自然発症ラットSHR/NDmcr-cp.	共	2004年	肥満研究	山本潤子, 池田克巳, 奈良安雄
29.世界調査からみた食品と高血圧.	共	2004年	血圧	森英樹
30.Hypoxia-induced changes in tight junction	共	2004年	Neurobiol Dis.	Yamagata, K., Tagami, M., Takenaga, F., Itoh, S.

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>3 学術論文</b>				
permeability of brain capillary endothelial cells are associated with IL-1beta and nitric oxide.				
31. Worldwide epidemic of obesity: Hope for Japanese diets.	単	2004年	Clin Exp Pharmacol Physiol Suppl 2.	
32. Obesity, emerging risk in China: Trend of increasing prevalence of obesity and its association with hypertension and hypercholesterolemia among the Chinese. ??	共	2004年	Clin Exp Pharmacol Physiol Suppl 2.	Liu., L., Ikeda, K., chen, M., yin W., Mizushima, S., Miki, T., Nara, Y.
33. Fish and lifestyle-related diseases prevention: Experimental and epidemiological evidence for anti-atherogenic potential of taurine. ??	共	2004年	Clin Exp Pharmacol Physiol Suppl 2.	Murakami, S., Ikeda, K., Nara, Y.
34. Effects of vitamin E and sesamin on hypertension and cerebral thrombogenesis in stroke-prone spontaneously hypertensive rats.	共	2004年	Clin Exp Pharmacol Physiol Suppl 2.	Noguchi, T., Ikeda, K., Sasaki, Y., Yamamoto, J.
35. Serum lipid effects of a monounsaturated (palmitoleic) fatty acid-rich diet based on macadamia nuts in healthy, young, Japanese women.	共	2004年	Clin Exp Pharmacol Physiol Suppl 2.	Hiraoka-Yamamoto, J., Ikeda, K., Negishi, H., Mori, M., Hirose, A., Sawada, S., Kitamori, K., Onobayashi, Y., Kitano, S., Tashiro, M., Miki, T.
36. Soy isoflavones improve bone metabolism in postmenopausal Japanese women.	共	2004年	Clin Exp Pharmacol Physiol Suppl 2.	Mori, M., Sagara, M., Ikeda, K., Miki, T.
37. Soy isoflavone tablets reduce osteoporosis risk factors and obesity in middle-	共	2004年	Clin Exp Pharmacol Physiol Suppl 2.	Mori, M., Aizawa, T., Tokoro, M., Miki, T.

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>3 学術論文</b>				
aged Japanese women. 38. Effect of a soybean product on serum lipid levels in female university students.	共	2004年	Clin Exp Pharmacol Physiol Suppl 2.	Takahashi, K., Kamada, Y., Hiraoka-Yamamoto, J., Mori, M., Nagata, R., Hashimoto, K., Aizawa, T., Matsuda, K., Kometani, T., Ikeda, K.
39. Impact of diet on the cardiovascular risk profile of Japanese immigrants living in Brazil : contributions of world health organization cardiac and Monalisa studies.	共	2004年	Clin Exp Pharmacol Physiol Suppl 2.	Moriguchi, EH., Moriguchi
40. 蛋白質、魚油、食物繊維の摂取	単	2004年	血圧	
41. Effects of docosahexaenoic acid supplementantion on blood pressure and serum lipids in Scottish men with mild hypertension and hypercholesterolaemia,	共	2004年		Njelekela, M., Sagara, M., Kanda, T., Teramoto, T., Armitage L., Birt, C.
42. Isoflavone aglycones have anti-hypertensive effects in stroke-prone spontaneously hyperetsnive rats.	共	2004年		Song, X., Ikeda, K., Pan, W., Noguchi, T., Yamamoto, J., Negishi, H., Yakebe, M.
43. Nutritional prevention on hypertension cerebral hemodynamics and thrombosis in stroke-prone spontaneously hypertensive rats.	共	2004年	Cell Mol Neurobiol.	Noguchi, T., Ikeda, K., Sasaki, Y.
44. Genistein inhibits expressions of NADPH oxidase p22phox and angiotensin II type 1 receptor in aortic endothelial cells from stroke-prone	共	2004年	Hypertens Res.	Xu, jin-Wen., Ikeda, K.

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>3 学術論文</b>				
spontaneously hypertensive rats. 45. Can foods with added soya-protein or fish-oil reduce risk factors for coronary disease? A factorial randomised controlled trial.	共	2004年	Nutr Metab Cardiovasc Dis.	Harrison, R.A., Sagara, M., Rajpura, A., Armitage, L., Birt, N., Birt, C.A.
46. Cyanidin results in expression of endothelial nitric oxide synthase via Src-ERK1/2 signaling pathway.	共	2004年	Clin Exp Hypertens.	Xu, jin-Wen., Ikeda, K.
47. Nutrition and lifestyle-related disease prevention in the future.	単	2004年	Clin Exp Pharmacol Physiol Suppl 2.	
48. Effects of voluntary exercise on cerebral thrombosis and endothelial function in spontaneously hypertensive rats (SHRSP/IZM).	共	2004年	Clin Exp Pharmacol Physiol Suppl 2.	Sasaki, Y., Noguchi, T., Yamamoto, E., Giddings, JC., Ikeda, K., Yamamoto, J.
49. Black and green tea polyphenols attenuate blood pressure increases in stroke-prone spontaneously hypertensive rats.	共	2004年	J.Nutr.	Negishi, H., Xu, J., Ikeda, K., Njelekela, M., Nara, Y.
50. Lactococcus lactis subsp. Cremoris FC 株含有発酵乳の健常高齢者の排便状況と糞便内菌叢および免疫系におよぼす影響.	共	2004年		戸田登志也, 小阪英樹, 寺井雅一
51. 大豆・魚介類栄養を用いた昼食メニュー介入による生活習慣病リスクの改善.	共	2004年	公益信託日本動脈硬化予防研究基金平成15年度研究報告集	家森幸男, 森真理, 藤沢和恵, 北森一哉, 森英樹
52. 高血圧自然発症ラット (SHR) と脳卒中易発症SHR (SHRSP) .	単	2004年	株式会社エーザイ「循環器研究の動物たち」	
53. 脳動脈硬化と栄養一病態からみた栄養の重要性一	単	2004年	動脈硬化予防別刷	
54. Geoethnic-sensitive and cross-culture	共	2004年	International congress Series.	Liu, L., Ikeda, K., Yin, X., Yang, T., Mu, L., Zhao, H., Mizushima, S., Miki, T., Nara, Y.

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>3 学術論文</b>				
differences of dietary patterns and blood pressure among five ethnic populations in China.				
55. Obesity and other risk factors for cardiovascular diseases among Africans: results from CARDIAC study in Tanzania.	共	2004年	ELSEVIER International Congress Series.	Njekekela, M., Ikeda, K., Mtabaji, J.
56. Characterization of the obese spontaneously hypertensive rats (SHR/NDmcr-cp): a model of metabolic syndrome.	共	2004年	Clin Exp Hypertens.	Hiraoka-Yamamoto, J., Ikeda, K., Tsuchikura, S., Yasui, N., Onobayashi, Y., Nara, Y.
57. Epidemiology ー risk factor.	単	2004年	2004 ISH Highlights (Session4C2)	
58. 「栄養養生」ー世界調査と遺伝子研究で判った食のカー (第44回日本人間ドック学会) .	共	2004年	健康医学別冊	大道 學
59. 大豆イソフラボン	共	2005年	成人病と生活習慣病	森真理, 森英樹
60. 高血圧研究の偉人 第25回 岡本耕造 12	単	2005年	血圧	
61. Identificatrion of quantitative trait loci for cardiac hypertrophy in two different strains of the spontaneously hypertensive rat	共	2005年	Hypertens Res.	Inomata, H., Watanabe, T., Iizuka, Y., Liang, Yi-Qiang., Mashimo, T., Nabika, T., Ikeda, K., Yanai, K., Gotoda, T., Isobe, M., Kato, N.
62. Downregulation of racl activation by caffeic acid in aortic smooth muscle cells	共	2005年	Life Sci.	Xu, J., Ikeda, K., Kobayakawa, A., Ikami, T., Kayano, Y., Mitani, T.
63. Caffeic acid inhibits vascular smooth muscle cell proliferation induced by angiotensin II in stroke-prone spontaneously hypertensive rats	共	2005年	Hypertens Res.	Li, P., Xu, J., Ikeda, K., Kobayakawa, A., Kayano, Y., Mitani, T., Ikami, T.
64. Lactococcus lactis subsp. cremoris FC を含有する発酵乳の	共	2005年	日本食品科学工学学会誌	戸田登志也, 小阪英樹, 寺井雅一, 森 英樹, 辨野義己

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>3 学術論文</b>				
健常高齢者に対する排便および糞便内菌叢に及ぼす影響				
65. 日本・世界の長寿地域	単	2005年	成人病と生活習慣	
66. 高血圧の国際栄養学	単	2005年	最新医学	
67. 19 大豆イソフラボン	共	2005年	食品機能素材Ⅲ, シーエムシー出版	森真理, 森英樹
68. 5 カスピ海ヨーグルト	共	2005年	食品機能素材Ⅲ, シーエムシー出版	家森正志, 森真理, 森英樹, 家森百合子
69. 世界調査から地球の健康を考える. 健康未来学セミナー 2005～食が開く健康な未来～. 武庫川女子大学健康未来学講座	単	2005年		
70. 健康未来学講座のあゆみ. 健康未来学セミナー2005～食が開く健康な未来～. 武庫川女子大学健康未来学講座	共	2005年		池田克己, 山本潤子, 許錦文
71. プルーンの抗酸化能. 健康未来学セミナー2005～食が開く健康な未来～. 武庫川女子大学健康未来学講座	共	2005年		根岸裕子, 池田克己
72. プルーンと抗酸化、そして動脈硬化予防. 健康未来学セミナー2005～食が開く健康な未来～	共	2005年		許錦文, 池田克己
73. モデルラットを用いたプルーン水抽出物の高血圧改善作用の検討. 健康未来学セミナー2005～食が開く健康な未来～	共	2005年		斧林優子, 池田克己, 許錦文, 根岸裕子, 安井奈穂美, 山本潤子
74. 高血圧自然発症ラット-脳卒中モデルの開発と予防への貢献-	単	2005年	循環器専門医	
75. 開発途上国における生活習慣病(高血圧)に及ぼす諸因子とその効果的対策に関する研究. 平成17年度厚生労働省国際医療協力研究委託費研究報告集.	単	2005年	国立国際医療センター	
76. Role of the renal nerves in $\gamma$ -aminobutyric acid-induced antihypertensive effect in spontaneously hypertensive rats	共	2005年	Eur J Pharmacol	Hayakawa, K., Kimura, M.
77. 肥満ラットの遺伝と	共	2005年05月		安井奈穂美, 山本潤子, 池田克己, 三木知博, 根岸裕子, 奈良安雄



研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>3 学術論文</b>				
環境、健康未来学セミナー2005～食が開く健康な未来～				
78. 肥満ラットとメタボリックシンドローム、健康未来学セミナー2005～食が開く健康な未来～	共	2005年05月		廣瀬晃子, 山本潤子, 安井奈穂美, 奈良安雄, 池田克巳, 三木知博
79. 女子学生と大豆 女子大生における大豆製品摂取による血清コレステロールに及ぼす影響について、健康未来学セミナー2005～食が開く健康な未来	共	2005年06月		鎌田陽子, 高橋享子, 橋本加代, 森真理, 永田隆子, 相澤徹, 山本潤子, 松田賢一, 池田克巳
80. 女子大学生とナッツ摂取、健康未来学セミナー2005～食が開く健康な未来～	共	2005年07月		澤田小百合, 田代操, 山本潤子, 根岸裕子, 森真理, 斧林優子, 廣瀬晃, 三木知博, 池田克巳
81. 食育に託す未来の健康、健康未来学セミナー2005～食が開く健康な未来～	共	2005年07月		森真理, 池田克巳
82. Lunch box rich in soy and fish rich lunch reduce risk of atherosclerosis in one month a double blind placebo controlled study.	共	2006年	Atherosclerosis Suppl.7	Mori M, Mori H, Yamori Y
83. アフリカ人青年男性におけるアンジオテンシン変換酵素(ACE)多型.	共	2006年	Ther Res	安井菜穂美, 池田克巳, Njelekela M, Masesa Z, 山本潤子, 野口孝則, 根岸裕子, 三木知博, 奈良安雄, Mtabaji J
84. Food factors for lifestyle-related diseases prevention: Worldwide epidemiological studies based on experimental evidence.	単	2006年	Clin Exp Hypertens.	
85. 日中の伝統食、大豆・魚介類栄養素による高血圧・脳卒中のリスク軽減効果の検証.	共	2006年	日中医学	李 南方
86. Food factors for atherosclerosis prevention: Asian perspective derived from analyses of worldwide dietary biomarkers.	単	2006年	Exp Clin Cardiol.	
87. Male	共	2006年	J Hypertens.	Liu, L., Mizushima, S., Ikeda, K., Nara, Y.

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>3 学術論文</b>				
cardiovascular mortality and dietary markers in 25 population samples of 16 countries.				
88. A rat model of metabolic syndrome.	共	2006年	Nippon Rinsho. Suppl, 9	Ikeda K, Yasui N, Yamamoto J, Nara Y, Yamori Y
89. Low atherosclerosis risks of fish and soy eaters in the world.	共	2006年	Atherosclerosis Suppl.7	Yamori Y, Sagara M, Mori M, Mori H
90. Effect of dietary wheat aleurone on blood pressure and blood glucose and its mechanisms in obese spontaneously hypertensive rats: preliminary report on comparison with a soy diet.	共	2007年	Clin Exp Pharmacol Physiol Suppl 34	Sagara M, Mori M, Mori H, Tsuchikura S, Yamori Y
91. 福井県民の24時間尿採取法による食習慣と健康状況の調査について.	共	2007年	福井県	清水昌毅、家森幸男
92. Risk reduction of lifestyle-related diseases in young adults on soy-or fish-rich traditional Japanese meals.	共	2007年	Clin Exp Pharmacol Physiol Suppl.34	Yamaoka S, Fujimoto M, Mori M, Mori H, Yamori Y,
93. 世界の食事と心血管病死亡率.	共	2007年	血压	Liu, L., 水嶋春朔, 池田克己, 奈良安雄
94. 高血圧の地域栄養戦略の効果—日本人口の1/20を占める兵庫県からの報告—.	共	2007年	第34回高血圧研究会, Therapeutic Research. 28	森 真理, 相良未木, 大西千鶴, 今井清富, 家森幸男
95. Calcium tablets reduce osteoporosis risk factors and increase insulin-like growth factor-1 in high school girls- A randomized, double-blind, placebo-controlled trials.	共	2007年	Clinical & Experimental Pharmacology & Physiology	M Mori, H Mori
96. Adenosine induces expression of glial cell line-derived neurotrophic	共	2007年	Neurosci Res. 59	Yamagata K, Hakata K, Maeda A, Mochizuki C, Matsufuji H, Chino M, Yamori Y :

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>3 学術論文</b>				
factor (GDNF) in primary rat astrocytes.				
97. Japanese perspective on reduction in lifestyle disease risk in immigrant Japanese Brazilians: A double-blind, placebo-controlled intervention study on palatinose.	共	2007年	Clin Exp Pharmacol Physiol. 34	Yamori Y, Mori M, Mori H, Kashimura J, Sakuma T, Ishikawa PM, Moriguchi E, Moriguchi Y
98. C-reactive protein suppresses insulin signaling in endothelial cells: Role of spleen tyrosine kinase.	共	2007年	Mol Endocrinol. 21	Xu JW, Morita I, Ikeda K, Miki T, Yamori Y
99. Inhibitory effect of polyphenol cyanidin on TNF- $\alpha$ -induced apoptosis through multiple signaling pathways in endothelial cells.	共	2007年	Atherosclerosis. 193	Xu JW, Ikeda K, Yamori Y
100. Isoflavone aglycones promote the mRNA expression of endothelial nitric oxide synthase in aorta and reduced blood pressure in stroke-prone spontaneously hypertensive rats.	共	2007年	Clin Exp Pharmacol Physiol Suppl 34	Song X, Pan W, Noguchi T, Yasui N, Negishi H, Takabe M, Yamori Y, Ikeda K
101. Comprehensive QTL analysis of the serum cholesterol level before and after a high-cholesterol diet in SHRSP.	共	2007年03月	Physiol Genomics. 30	Mashimo, T., Ogawa, H., Cui, Zong-hu., Harada, Y., Kawakami, K., Masuda, J., Nabika, T.
102. パラチノースによる生活習慣病予防効果の検証.	共	2008年	研究助成論文集, XXIV, 財団法人健康管理事業団	森真理、家森幸男
103. The effect of palatinose on multiple risk factors in cardiovascular diseases in Chinese.	共	2008年	Journal of Clinical Lipidology, Supplement 2	Mori M, Xu JW, Mori H, Zhang S, Wan W, Wei GH, Yamori Y

## 研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>3 学術論文</b>				
104. Nitric oxide reduces astrocytic lactate production and induces neuronal vulnerability in stroke-prone spontaneously hypertensive rats.	共	2008年	Glia, 56	Yamagata K, Tagami M, Yamori Y
105. The role of cytochrome P-450 in salt-sensitive stroke in stroke-prone spontaneously hypertensive rats.	共	2008年	Hypertens Res, 31	Ying CJ, Noguchi T, Aso H, Ikeda K, Yamori Y, Nara Y
106. Isoflavones regulate secretion of leukemia inhibitory factor and transforming growth factor {beta} and expression of glycodefin in human endometrial epithelial cells.	共	2008年	J Endocrino, 196	Xu JW, Yasui N, Ikeda K, Pan WJ, Watanabe J, Shiotani M, Yanaihara A, Miki T, Yamori Y
107. Cardiovascular remodeling and metabolic abnormalities in SHRSP.Z-Leprfa/Izmdmcr rats as a new model of metabolic syndrome.	共	2008年	Hypertens Res, 3	Ueno T, Takagi H, Fukuda N, Takahashi A, Yao EH, Mitsumata M, Hiraoka-Yamamoto J, Ikeda K, Matsumoto K, Yamori Y
108. Isoflavones as putative anti-aging food factors in Asia and effects of isoflavone aglycone-rich fermented soybeans on bone and glucose metabolisms in postmenopausal women.	共	2008年03月	Geriatr Gerontol Int Suppl., 8	Mori, M., Okabe, Y., Tanimoto, H., Shimazu, T., Mori, H. Yamori.Y
109. New beverage for cardiovascular health, proposal based on oriental and occidental food culture from a world-wide epidemiological study.	共	2008年03月	Geriatr Gerontol Suppl.	Moriguchi, EH., Sagara, M., Mori, M., Mori, H., Sakuma, T., Ishikawa, PM., Moriguchi, Y.
110. Genistein	共	2009年	Phytother Res,	Zhang M, Ikeda K, Xu JW, Yamori Y, Gao XM, Zhang BL

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>3 学術論文</b>				
suppresses adipogenesis of 3T3-L1 cells via multiple signal pathways.			23(5)	
111. Delivery May Affect Arterial Elasticity in Women.	共	2009年	Circ J, 73	Hashimoto M, Miyamoto Y, Iwai C, Matsuda Y, Hiraoka E, Kanazawa K, Nishimura K, Sugiyama D, Ito K, Yamori Y, Akita H
112. Green tea polyphenols down-regulate caveolin-1 expression via ERK1/2 and p38MAPK in endothelial cells.	共	2009年	J Nutr Biochem, 20 (12)	Li Y, Ying C, Zuo X, Yi W, Meng Y, Ikeda K, Ye X, Yamori Y, Sun X
113. 本態勢高血圧の研究モデル動物SHR, SHRの開発-高血圧性疾患, 'メタボ'の成因, 治療, 根絶への新しい展望-高血圧④-日本における最新の研究動向-基礎編 II 我が国の世界へ発信した高血圧基礎研究の回顧.	共	2009年	日本臨床, 67(-) (964)	家森幸男, 森 真理, 北森一哉, 安井菜穂美, 池田克己
114. WHO-CARDIAC研究とMONALISA研究 -循環器疾患の栄養による予防は可能-高血圧⑤-日本における最新の研究動向-臨床編 ?世界の疫学研究の最新知見.	共	2009年	日本臨床, 67(-) (966)	家森幸男, 森 真理, 森 英樹, Liu Longjian, 水嶋春朔
115. 食生活と長寿 -世界の長寿食文化に学ぶ	単	2009年	月刊臨床と研究, 86(9)	
116. 栄養と生活習慣病-世界調査からの展望	単	2009年	ISIM国際統合医学会誌, 1 (1), 一般社団法人国際統合医学会	
117. Evaluation of genetic loci influencing adult height in the Japanese population.	共	2009年	J Hum Genet, 54 (12)	Takeuchi F, Nabika T, Isono M, Katsuya T, Sugiyama T, Yamaguchi S, Kobayashi S, Yamori Y, Ogihara T, Kato N
118. Taurine as the nutritional factor for the longevity of the Japanese revealed by a world-wide epidemiological survey.	共	2009年01月	Adv Exp Med Biol, 643	Yamori Y, Liu L, Mori M, Sagara M, Murakami S, Nara Y, Mizushima S
119. 食肉と長寿食文化.	単	2009年01月	ヒトと動物の関係学, 第2巻, 岩波書店	
120. Do diet good for	単	2009年01月	JMAJ, 52 (1)	

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>3 学術論文</b>				
longevity really exist?-Lesson from the eating habits of counties with long-lived population-.				
121.Comparative studies on 24-hour urinary excretion in Japanese and Chinese adults and children--need for nutritional education.	共	2009年01月	Adv Exp Med Biol, 643	Mori M, Xu JW, Mori H, Ling CF, Wei GH, Yamori Y
122.Gene-environmental interaction regarding alcohol-metabolizing enzymes in the Japanese general population	共	2009年02月	Hypertens Res, 32 (3)	Tsuchihashi-Makaya M, Serizawa M, Yanai K, Katsuya T, Takeuchi F, Fujioka A, Yamori Y, Ogihara T, Kato N
123.Atherogenic dyslipidemia and altered hepatic gene expression in SHRSP.Z-Leprfa/lzmDmcr rats.	共	2009年03月	Int J Mol Med, 23	Ueno T, Fukuda N, Nagase H, Tsunemi A, Tahira K, Matsumoto T, Hiraoka-Yamamoto J, Ikeda K, Mitsumata M, Sato Y, Soma M, Matsumoto K, Yamori Y
124.Palatinose-blended sugar compared with sucrose: different effects on insulin sensitivity after 12 weeks supplementation in sedentary adults.	共	2010年	Int J Food Sci Nutr, 61 (6)	Okuno M, Kim MK, Mizu M, Mori M, Mori H, Yamori Y
125.High susceptibility of obese hypertensive SHRSP.Z-Leprfa/lzmDmcr rats to lipid deposition in the mesenteric artery.	共	2010年	Clin Exp Pharmacol Physiol, 37 (11)	Kunimasa K, Yoshitomi H, Miura C, Mori H, Tsuchikura S, Ikeda K, Gao M, Yamori Y, Mori M
126.Blood pressure and hypertension are associated with 7 loci in the Japanese population.	共	2010年	Circulation, 121 (21)	Takeuchi F, Isono M, Katsuya T, Yamamoto K, Yokota M, Sugiyama T, Nabika T, Fujioka A, Ohnaka K, Asano H, Yamori Y, Yamaguchi S, Kobayashi S, Takayanagi R, Ogihara T, Kato N
127.Phosphorylated Endothelial NOS Ser1177 via the PI3K/Akt Pathway Is Depressed in the Brain of Stroke-Prone Spontaneously Hypertensive Rat.	共	2010年	J Stroke Cerebrovasc Dis,	Yoshitomi H, Xu Q, Gao M, Yamori Y

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>3 学術論文</b>				
128. Neuronal vulnerability of stroke-prone spontaneously hypertensive rats to ischemia and its prevention with antioxidants such as vitamin E.	共	2010年	Neuroscience, 170 (1)	Yamagata K, Tagami M, Yamori Y
129. Nobiletin, a citrus polymethoxyflavonoid, suppresses multiple angiogenesis-related endothelial cell functions and angiogenesis in vivo.	共	2010年	Cancer Sci, 101 (11)	Kunimasa K, Ikekita M, Sato M, Ohta T, Yamori Y, Ikeda M, Kuranuki S, Oikawa T
130. Resting heart rate in relation to blood pressure: results from the World Health Organization-Cardiovascular Disease and Alimentary Comparison Study.	共	2010年	Int J Cardiol, 145 (1)	Liu L, Mizushima S, Ikeda K, Nara Y, Yamori Y; Cardiovascular Disease and Alimentary Comparison Study Group
131. Flax oil-mediated activation of PPAR- $\gamma$ correlates with reduction of hepatic lipid accumulation in obese spontaneously hypertensive/NDmcr-cp rats, a model of the metabolic syndrome.	共	2010年	Br J Nutr, 104 (9)	Chechi K, Yasui N, Ikeda K, Yamori Y, K Cheema S
132. Mitochondrial HMG-CoA synthase partially contributes to antioxidant protection in the kidney of stroke-prone spontaneously hypertensive rats.	共	2010年	Nutrition, 26 (11-12)	Yi W, Fu P, Fan Z, Aso H, Tian C, Meng Y, Liu J, Yamori Y, Nara Y, Ying C
133. First direct comparison of platelet reactivity and thrombolytic status between Japanese and	共	2010年	Int J Cardiol,	Gorog DA, Yamamoto J, Saraf S, Ishii H, Ijiri Y, Ikarugi H, Wellsted DM, Mori M, Yamori Y

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>3 学術論文</b>				
Western volunteers : Possible relationship to the "Japanese paradox"				
134. 24時間尿中タウリンおよびマグネシウム量と血圧の相関解析-WHO-CARDIACスタディ世界41地域の解析	共	2010年	THERAPEUTIC RESEARCH, 31(12)	田口 崇、森 真理、森 英樹、家森幸男
135. Taurine in health and diseases: consistent evidence from experimental and epidemiological studies	共	2010年	J Biomed Sci, 17 (Suppl 1)	Yamori Y, Taguchi T, Hamada A, Kunimasa K, Mori H, Mori M
136. Taurine's health influence on Japanese high school girls	共	2010年	J Biomed Sci, 17 (Suppl 1)	Ishikawa M, Arai S, Takano M, Hamada A, Kunimasa K, Mori M
137. Taurine in morning spot urine for the useful assessment of dietary seafood intake in Japanese children and adolescents.	共	2010年	J Biomed Sci, 17 (Suppl 1)	Mori M, Mori H, Hamada A, Yamori Y
138. Deterioration of traditional dietary custom increases the risk of lifestyle-related diseases in young male Africans.	共	2010年	J Biomed Sci, 17 (Suppl 1)	Hamada A, Mori M, Mori H, Muhihi A, Njelekela M, Masesa Z, Mtabaji J, Yamori Y
139. Low cardiovascular risks in the middle aged males and females excreting greater 24-hour urinary taurine and magnesium in 41 WHO-CARDIAC study populations in the world.	共	2010年	J Biomed Sci, 17 (Suppl 1)	Yamori Y, Taguchi T, Mori H, Mori M
140. Common variants at the GCK, GCKR, G6PC2-ABCB11 and MTNR1B loci are associated with fasting glucose in two Asian populations.	共	2010年02月	Diabetologia, 53 (2)	Takeuchi F, Katsuya T, Chakrewarthy S, Yamamoto K, Fujioka A, Serizawa M, Fujisawa T, Nakashima E, Ohnaka K, Ikegami H, Sugiyama T, Nabika T, Kasturiratne A, Yamaguchi S, Kono S, Takayanagi R, Yamori
141. Beneficial Effect of Viscous	共	2011年	Geriatrics	Mori M, Hamada A, Ohashi S, Mori H, Toda T, Yamori Y



研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>3 学術論文</b>				
Fermented Milk on Blood Glucose and Insulin Responses to Carbohydrates in Mice and Healthy Volunteers : Preventive Geriatrics Approach by "Slow Calorie".				
142. Resveratrol derivative-rich melinjo (Gnetum gnemon L.) seed extract suppresses multiple angiogenesis-related endothelial cell functions and tumor angiogenesis.	共	2011年	Mol Nutr Food Res ,55(11)	Kunimasa K, Ohta T, Tani H, Kato E, Eguchi R, Kaji K, Ikeda K, Mori H, Mori M, Tatefuji T, Yamori Y
143. Effects of docosahexaenoic Acid supplementation on blood pressure, heart rate, and serum lipids in Scottish men with hypertension and hypercholesterolemia.	共	2011年	Int J Hypertens , 2011	Sagara M, Njelekela M, Teramoto T, Taguchi T, Mori M, Armitage L, Birt N, Birt C, Yamori Y
144. Assessment of Food Education by Urinalysis.	共	2011年	Procedia - Social and Behavioral Sciences,15	Mori M, Mori H, Yamori Y
145. New chromone derivative terminalianone from African plant Terminalia brownii Fresen (Combretaceae) in Tanzania.	共	2011年	J Asian Nat Prod Res , 13(3)	Negishi H, Maoka T, Njelekela M, Yasui N, Juman S, Mtabaji J, Miki T, Nara Y, Yamori Y, Ikeda K
146. Confirmation of ALDH2 as a Major locus of drinking behavior and of its variants regulating multiple metabolic phenotypes in a Japanese population.	共	2011年	Circ J , 75(4)	Takeuchi F, Isono M, Nabika T, Katsuya T, Sugiyama T, Yamaguchi S, Kobayashi S, Ogihara T, Yamori Y, Fujioka A, Kato N
147. Meta-analysis of genome-wide association studies identifies	共	2011年	Nat Genet ,43(6)	Kato N, Takeuchi F, Tabara Y, Kelly TN, Go MJ, Sim X, Tay WT, Chen CH, Zhang Y, Yamamoto K, Katsuya T, Yokota M, Kim YJ, Ong RT, Nabika T, Gu D, Chang LC, Kokubo Y, Huang W, Ohnaka K, Yamori Y, Nakash

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>3 学術論文</b>				
common variants associated with blood pressure variation in east Asians.				
148.メタボリックシンドローム関連モデル動物	共	2011年	日本臨床, 69,増刊号1	安井菜穂美, 根岸裕子, 奈良安雄, 家森幸男, 池田克己
149.Hypertension, periodontal disease, and potassium intake in nonsmoking, nondrinker african women on no medication.	共	2011年	Int J Hypertens, 2011	Yamori M, Njelekela M, Mtabaji J, Yamori Y, Bessho K
150.Development of novel rat model for high-fat and high-cholesterol diet-induced steatohepatitis and severe fibrosis progression in SHRSP5/Dmcr.	共	2011年	Environ Health Prev Med, 2012 May;17(3)	Kitamori K, Naito H, Tamada H, Kobayashi M, Miyazawa D, Yasui Y, Sonoda K, Tsuchikura S, Yasui N, Ikeda K, Moriya T, Yamori Y, Nakajima T
151.Association of genetic variants for susceptibility to obesity with type 2 diabetes in Japanese individuals.	共	2011年	Diabetologia, 2012 Apr;55(4)	Takeuchi F, Yamamoto K, Katsuya T, Nabika T, Sugiyama T, Fujioka A, Isono M, Ohnaka K, Fujisawa T, Nakashima E, Ikegami H, Nakamura J, Yamori Y, Yamaguchi S, Kobayashi S, Ogihara T, Takayanagi R, Kato
152.Prevalence of cardiovascular disease risk factors among young and middle-aged men in urban Mwanza, Tanzania.	共	2011年	J Public Health, 19(6)	Njelekela M, Muhihi A, Mpembeni R, Masesa Z, Kitamori K, Mori M, Kato N, Mtabaji J, Yamori Y
153.Possible association of high urinary magnesium and taurine to creatinine ratios with metabolic syndrome risk reduction in Australian aboriginals.	共	2011年01月	Cardiol Res Pract. 2011	Hamada A, Taguchi T, Mori H, Thorpe M, Yamori Y, Mori M.
154.Physical activity and cardiovascular disease risk factors among young and middle-aged men in urban Mwanza, Tanzania	共	2012年01月	Pan Afr Med	Muhihi A, Njelekela M, Mpembeni R, Masesa Z, Kitamori K, Mori M, Kato N, Mtabaji J, Yamori Y
155.Effects of cooking	共	2012年01月	Int J Food Sci	Mori M, Hamada A, Mori H, Yamori Y, Tsuda K

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>3 学術論文</b>				
using multi-ply cookware on absorption of potassium and vitamins: a randomized double-blind placebo control study.			Nutr , 2011	
156.Genome-wide association study of coronary artery disease in the Japanese.	共	2012年01月	Eur J Hum Genet ,20(3)	Takeuchi F, Yokota M, Yamamoto K, Nakashima E, Katsuya T, Asano H, Isono M, Nabika T, Sugiyama T, Fujioka A, Awata N, Ohnaka K, Nakatochi M, Kitajima H, Rakugi H, Nakamura J, Ohkubo T, Imai Y, Shimamo
157.Simultaneous changes in high-fat and high-cholesterol diet-induced steatohepatitis and severe fibrosis and those underlying molecular mechanisms in novel SHRSP5/Dmcr rat.	共	2012年03月	Environ Health Prev Med	Moriya T, Kitamori K, Naito H, Yanagiba Y, Ito Y, Yamagishi N, Tamada H, Jia X, Tsuchikura S, Ikeda K, Yamori Y, Nakajima T
<b>その他</b>				
<b>1. 学会ゲストスピーカー</b>				
1. 摂津市歯科医師会講演会		2006年01月		世界の長寿食文化でいのち輝く未来を
2. 難病患者団体連絡協議会講演会		2006年01月		一日一膳のすすめ
3. 第70回記念日本循環器学会集会		2006年03月		世界の調査でわかった健康寿命を延ばす食べ方上手
4."第60回日本栄養・食糧学会大会		2006年05月		大豆強化食摂取効果の健康な青年男性での検討
5."第60回日本栄養・食糧学会大会		2006年05月		大豆摂取量に関する自己評価と実際の摂取量の調査
6. ISA2006		2006年06月		"CARDiovascular Disease and Alimentary Comparison Study
7. ISA2006 Satellite Symposium		2006年06月		"WHO-CARDIAC Study
8. 日本臨床栄養学会		2006年09月		大豆イソフラボンゲノムプラスの栄養の効果
9. 第2回生活習慣病予防国際シンポジウム		2006年10月		美しく輝いていくためにー世界調査からの福音ー
10. 第21回国際高血圧学会		2006年10月		POPULATION STRATEGY FOR CARDIOVASCULAR DISEASE(CVD ) PREVENTION IN HYOTO PREFECTURE, ONE TWENTIETH OF JAPANESE POPULARION
11. 第39回日本薬剤師会学術大会		2006年10月		いのち輝く高齢社会の礎ー薬食婦ーから楽寿へー
12. 第21回日本更年期医学会ランチョンセミナー		2006年10月		世界調査からみたイソフラボンの効果と安全性
13. 第21回国際高血圧学会		2006年10月		GENNDAR DIFFERENCES OF CARDIOVASCULAR MORTALITY AND ITS ASOCIATION WITH DIETARY BIOMARKERS IN 25 POPULATION SAMPLES OF 16 COUNTRIES
14. 第10回日本病態栄養学会年次学術集会		2007年01月		世界調査からみた生活習慣病の予防栄養学
15. 第71回日本循環器学会総会・学術集会		2007年03月		世界調査でわかった心血管病を予防する食のパワー

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>1. 学会ゲストスピーカー</b>				
16. 日本旅行医学会		2007年04月		世界の長寿食文化ー地球を歩いて解った健康の秘訣
17. 第27回日本医学会総会		2007年04月		食から若返る「おいしい長寿食」
18. 日本栄養・食糧学会創立60周年記念「市民フォーラム」		2007年05月		世界の食生活と長寿ー世界の長寿、日本の長寿
19. 第7回IUFOSTーJapan公開シンポジウム		2007年05月		世界調査から見た日本の伝統食の機能性
20. 第1回世界アンチエイジング医学 日本会議		2007年06月		美しく内から輝いて生きるー世界を巡ってわかったアンチエイジングダイエット
21. 第8回国際統合医学学会特別講演		2007年06月		栄養介入による生活習慣病のリスク軽減ー世界調査からの展望
22. 第7回日本抗加齢医学会総会		2007年07月		世界の長寿食文化とダイエットー「足るを知る」日本食のメリット
23. 国際タウリンミーティング		2007年09月		Taurine as the Nutritional Factor for the Longevity of the Japanese Revealed by a World-wide Epidemiological Survey
24. 第43回高血圧関連疾患モデル学会		2007年09月		世界の長寿食文化に学ぶメタボ対策
25. 日本未病システム学会（金沢医科大学高齢医学）		2007年11月		女性はきれいで高齢者は元気ー世界調査でわかった楽寿の秘訣ー
26. 第44回日本循環器病予防学会		2008年05月		新しい砂糖（パラチノースを主成分とする“ミレニア糖”）による生活習慣病予防効果の検証
27. The26 International Symposium on Diabetes and Nutrition		2008年06月		Preventive effects of Japanese dietary components on obesity and metabolic syndrome
28. 第2回ポリフェノール研究会		2008年07月		ポリフェノールの有用性評価ーイソフラボン研究に学ぶ
29. 第55回日本栄養改善学会		2008年09月		世界の食調査から見る長寿の謎
30. 第58回日本体質医学会		2008年09月		ゲノムプラス”の長寿栄養学
31. 第31回日本高血圧学会総会		2008年10月		世界に学ぶ長寿の和食ー食べて高血圧・“メタボ”にならない
32. 第44回高血圧関連疾患モデル学会学術総会		2008年11月		美しく元気に生きられる長寿学ー島根から世界への発信ー
33. Menopause Andropause Anti-Aging 2008		2008年12月		Soy isoflavones for menopausal health and Anti-Aging in Japan
34. 第9回癒しの環境研究会全国大会		2009年02月		世界をめぐってわかった癒しの食と食環境
35. 第9回日本健康・栄養システム学会		2009年05月		元気で美しく生きるための毎日の食事とはー『一日一善（膳）』のすすめー
36. 第63回日本栄養・食糧学会大会		2009年05月		軽度肥満者における大豆由来成分の同時摂取による内臓脂肪低減効果
37. 第32回日本高血圧学会総会		2009年10月		食べて血圧を下げるー世界調査でわかった元気できれいになる秘訣ー
38. 日本抗加齢医学会		2009年10月		世界の食から健康長寿を探る
39. 17th International Taurine Meeting		2009年12月		Taurine in health and disease ーMessage from WHO-CARDIAC Study and Experimental Models for Hypertension and Strokeー
40. 日本抗加齢医学会分科会		2009年12月		食事からのアンチエイジングのすすめ
41. 第10回日本抗加齢医		2010年06月		世界調査から見た健康長寿の食生活ーアボリジニから学ぶー

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>1. 学会ゲストスピーカー</b>				
学会総会				
42. 第4回ポリフェノール研究会		2010年08月		ポリフェノールの有効性の評価：動物実験の役割
43. 2nd World Health Summit		2010年10月		Preventive Diets for Health for All Beyond the Impact of Westernization on the Asian Populations.
44. 第17回日本未病システム学会学術総会		2010年11月		伝統食文化の融合が築く楽寿社会－世界調査から長寿再生を考える－
45. International Symposium on "Cardiovascular Disease Prevention"		2011年02月		Magnesium(Mg)and Marine Nutrients-Gift for Life from the Sea.
46. Prevent India 2011		2011年02月		Common Prehistoric Dietary Components Good for Cardiovascular Diseases Prevention.
47. International Symposium on "Cardiovascular Disease Prevention"		2011年02月		Population Difference in Diets of CV Diseases-Message for CVC Prevention from WHO-Cardiac Study.
48. 21th National Conference of the Indian Society of Hypertension		2011年09月		Nutritional and Cardiovascular Risks & Intervention with Automated Home Blood Pressure Monitoring.
<b>2. 学会発表</b>				
1. バラチノース摂取による腹部内臓脂肪および動脈硬化指数への効果～日系ブラジル人男性への影響～	共	2006年05月		森真理, 森口エリカ, 森英樹, Paulo Ishikawa, Tatsuya Sakuma, 森口幸雄, 家森幸男
2. Soy and Fish Rich Lunch Reduces Risk of Atherosclerosis in One Month.	共	2006年06月		M Mori, H Mori, Y Yamori,
3. Low atherosclerosis risks of fish and soy eaters in the world	共	2006年06月		Y Yamori, M Sagara, M Mori, H Mori
4. New beverage for cardiovascular health, proposal based on oriental and occidental food culture from a world-wide epidemiological study	共	2006年09月		Y Yamori, E Moriguchi, M Sagara, H Mori, Y Moriguchi
5. Population and high risks strategy for cardiovascular health by soy intake in the Japanese and Scottish middle-aged men	共	2006年09月		Y Yamori, M Mori, M Sagara, C Ohnishi, L Armitage, C Birt
6. Popular Home-made Fermented Milk Improves Nutritional and	共	2006年09月		M. Mori, H. Mori, M. Yamori, H. Hirota, Y Yamori

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>2. 学会発表</b>				
Immunological Responses Against Influenza Vaccination in Handicapped Japanese				
7. Calcium Tablets Reduce Osteoporosis Risk Factors in High School Girls-A Randomized, Double-blind, Placebo-controlled Trial-	共	2006年10月		M Mori, H Mori, Y Yamori
8. Nutritional Advice, More Effective by Utilizing 24-hour Urinary Biomarkers for Hypertension-related Risk Reduction	共	2006年10月		M Mori, H Mori, S Shimoyama, S Senga, Y Yamori
9. 食育効果の科学的評価法の検討	共	2006年10月		森真理, 下山沙織, 家森幸男
10. 携帯電話のカメラ写真とスポット尿による栄養アドバイスの効果の検討	共	2006年10月		下山沙織, 森真理, 今井長子, 横田久代, 伊藤ひで, 森英樹, 家森幸男
11. 世界調査における24時間採尿中タウリン排泄量と生活習慣病のリスク	共	2007年01月		森真理, 相良未木, 家森幸男
12. 小学生の生活習慣の現状と健康に関する大規模調査-風邪の罹患との関連から-	共	2007年02月		山中祥子, 森真理, 下山沙織, 伊藤郁子, 森英樹, 藤岡晨弘, 家森幸男
13. カルシウムタブレット摂取による若年層からの骨粗鬆症リスク軽減効果の検証	共	2007年05月		森真理, 森英樹, 家森幸男
14. イソフラボンアグリコン含有の無塩麹発酵大豆による骨代謝改善効果について	共	2007年05月		家森幸男, 森真理, 森英樹, 岡邊有紀, 島津司, 谷本浩之
15. 野菜ジュース摂取による生活習慣病のリスク軽減効果	共	2007年05月		森真理, 森英樹, 下山沙織, 家森幸男
16. Comparative Studies on 24-hour Urinary Taurine Excretion in Japanese and Chinese Adults and Children ? Need for Food Education for Traditional Diets	共	2007年09月		M Mori, JW Xu, H Mori, C FengLing, GH Wei, Y Yamori,
17. 生徒による児童への“食事バランスガイ	共	2007年09月		森真理, 仙賀鈴江, 家森幸男

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>2. 学会発表</b>				
ド”を利用した食育プログラムの効果				
18.『美・Lunch』摂取による食育効果について	共	2008年05月		森 真理, 豊田美影, 上田武久, 仙賀鈴江, 家森幸男
19.大豆・魚介類栄養を用いた昼食介入による生活習慣病リスク軽減効果の検証	共	2008年05月		森 真理, 森 英樹, 尾崎利美, 荻原 聡, 家森幸男
20.Nutritional Advice on Salt Intake by Monitoring Morning Spot Urine and Its Effect on Hypertension Risk Reduction	共	2008年06月		Mori M, Mori H, Yamori Y,
21.Newly-Developed Isoflavone-Aglycone Rich Fermented Soybeans (Fsoy) Reducing Life style-related Disease Risks in Japanese Living in Japan and Brazil	共	2008年06月		Mori M, Okabe Y, Tanimoto H, Shimazu T, Mori H, Yamori Y
22.牛乳・乳製品摂取による風罹患者率への影響	共	2008年09月		下山沙織, 森 真理, 森 英樹, 山中祥子, 戸田登志也 北村保子, 家森幸男
23.Risk Factor Reduction by Calcium Supplementation in Model Rats for Metabolic Syndrome, SHR/NDmcr-cp (SHR-cp)	共	2008年09月		Mori M, Mori H, Yamori Y,
24.Proposal for Nutritional Advice by the Estimation of Salt Intake Based on Morning Spot Urine	共	2008年09月		Mori M, Mori H, Shimoyama S, Yamori Y
25.Lunch Menus Based on “Japanese Food Guide” (JFG) Reduce the Risk of Lifestyle-related Diseases (LSD)	共	2008年09月		Mori M, Mori H, Senga S, Yamori Y
26.適塩でバランスの良い毎日の昼食に摂取されたりリスク軽減効果～一日一膳プロジェクト(第3報)	共	2008年09月		森 真理, 矢野 綾, 下山沙織, 森 英樹, 家森幸男
27.カスピ海ヨーグルト摂取による便秘改善の検討	共	2008年09月		矢野 綾, 森 真理, 森 英樹, 下山沙織, 戸田登志也, 家森幸男
28.The Effect of Palatinose on Multiple Risk	共	2008年10月		Mori M, Xu JW, Mori H, Zhang S, Wan W, Wei GH, Yamori Y

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>2. 学会発表</b>				
Factors in Cardiovascular Diseases in Chinese				
29. AglyMax improves implantation by stimulating secretion of leukemia inhibitory factor (LIF) in human endometrial epithelial cells	共	2008年11月		Yanagihara A, Xu J-W, Yasui N, Ikeda K, Pan W, Watanabe J, Shiotani M, Miki T, Yamori Y
30. Relationship between lifestyle-related diseases with the intake of Indonesian traditional fruit Melinjo rich in phytoestrogens	共	2008年11月		Mori M, Mori H, Nakanishi Y, Tatefuji T, Sadewa AH, Yamori Y
31. Interactive Blood Pressure Effect of Sodium and Taurine in 7 Japanese Populations from CARDIAC- Study	共	2008年12月		Yamori Y, Sagara M, Mori M, Mori H
32. 食育プロジェクト参加中高生の健康状態の現状と出生時体重との関連について	共	2009年05月		森 真理、浜田敦美、芝軒郁美、豊田美景、森 英樹、家森幸男
33. High prevalence of cardiovascular risk in Indonesia.	共	2009年05月		Yamori Y, Mori M, Mori H, Kunimasa K, Tatefuji T
34. 軽度肥満者における大豆由来成分の同時摂取による内臓脂肪低減効果	共	2009年05月		家森幸男, 森 真理, 森 英樹, 浜田敦美, 永野裕史, 佐藤典彦, 吉川紗代, 浜野拓也
35. 中高生における食育を考える上での健康診断の有用性について	共	2009年05月		浜田敦美, 森 真理, 豊田美景, 森 英樹, 家森幸男
36. バイオマーカーを用いた新しい食育の取り組み	共	2009年06月		森 真理, 家森幸男
37. 乳製品の発酵の有無による複合炭水化物吸収への影響	共	2009年09月		森 真理, 浜田敦美, 森 英樹, 戸田登志也, 家森幸男
38. Docosahexaenoic Acid or Olive Oil Supplementation on Blood Pressure and Serum Lipids in Scottish Men with Mild Hypertension and Hypercholesterolaemia.	共	2009年10月		相良未木, 田口 崇, 森 真理, 家森幸男



研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>2. 学会発表</b>				
39. インドネシア果実メリンジョから単離されたレスベラトロール2量体グネチンCの血管新生抑制作用	共	2009年10月		國政和宏, 江口良二, 太田敏郎, 加治和彦, 森 英樹, 森 真理, 立藤智基, 家森幸男
40. Deterioration of Traditional Dietary Custom Increases the Risk of Lifestyle-related Diseases in Young Male Africans	共	2009年12月		Hamada A, Mori M, Njelekela M, Mori H, Mtabaji J, Yamori Y
41. Low cardiovascular risks in the middle aged males and females Excreting greater 24-hour urinary taurine and magnesium in 41 WHO-CARDIAC study population in the world	共	2009年12月		Yamori Y, Taguchi T, Mori M, Mori H
42. Taurine in Morning Spot Urine for the Useful Assessment of Dietary Seafood Intake in Japanese children and Adolescents	共	2009年12月		Mori M, Mori H, Hamada A, Yamori Y
43. 中高生の葉酸摂取量を増やすための葉酸代謝関連遺伝子MTHFRのタイプ別食育プログラムの検討	共	2010年05月		森 真理, 田口 崇, 浜田敦美, 森 英樹, 家森幸男, 津田勤輔
44. 食育健診参加男子中高生の健康状態の現状と出生時体重との関連について	共	2010年05月		森 真理, 浜田敦美, 田口 崇, 家森幸男, 津田謹輔
45. 中高生における葉酸吸収関連遺伝子多型と, 血中葉酸および総ホモステイン濃度の関係	共	2010年05月		浜田敦美, 森 真理, 田口 崇, 森 英樹, 家森幸男
46. Immunostimulating effect of Mekabu-fucoidan (derived from brown alga Undaria pinnatifida sporophylls-mekabu-): evaluation on the basis of antibody producibility against influenza vaccine in the	共	2010年08月		H, Mori M, Yoshinaga K, Suzuma Y, Mukai H, Mori H, Kahara T, Nakano T, Yamori Y

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>2. 学会発表</b>				
elderl				
47. Effect of an Excessive Salt Intake on the Blood Pressure and Heart Rate in Young Male Normotensive African Tanzanians.	共	2010年09月		30. Ikeda K, Yasui N, Njelekela M, Negishi H, Yamamoto J, Noguchi T, Miki T, Nara Y, Mtabaji J, Yamori Y
48. Association between Oral Health and Risk Factors of Hypertension among Australian Aboriginals Revealed by a Pilot Epidemiological Study	共	2010年09月		29. Asai K, Yamori Y, Yamazaki T, Hamada A, Taguchi T, Tanoue M, Mori M, Thorpe M, Clark G, Yamori Y, Bessho K
49. Characterization of Obese Hypertensive SHRSP.Z-Leprfa/Izmdmcr Rats as Atherosclerotic Disease Model.	共	2010年09月		19. Kunimasa K, Yoshitomi H, Gao M, Tsuchikura S, Mori H, Mori M, Yamori Y
50. Alleviation of Salt-sensitivity by Soy and Fish Intakes in Humans and SHRSP	共	2010年09月		20. Yamori Y, Sagara M, Onishi C, Imai K, Mori M
51. Carotenoids and Cardiovascular Disease Risks in Japanese Elderly and Adolescents— Implication for Risk Reduction	共	2010年09月		21. Miyashita T, Murakami S, Inakuma T, Hayashi C, Mori M, Yamori Y
52. Alleviation of Salt-sensitivity by Soy and Fish Intakes in Humans as well as in SHRSP	共	2010年09月		Yamori Y, Sagara M, Onishi C, Imai K, Mori M
53. Association of nutrition with hypertension and other cardiovascular risks in Australian urban and rural Aboriginals	共	2010年09月		Hamada A, Mori M, Taguchi T, Mori H, Thorpe M, Clark G, Clark V, Yamori Y, on behalf of WHO-CARDIAC Study group
54. Low Cardiovascular Risks in the Middle Aged Individuals	共	2010年09月		Taguchi T, Mori M, Mori H, Yamori Y

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>2. 学会発表</b>				
Excreting Greater 24-hour Urinary Taurine in 41 WHO-CARDIAC Study Populations in the World				
55. Two Strongly Associated Dietary Markers with Hypertension and Cardiovascular Risks, Revealed by a World-wide Epidemiological Study	共	2010年09月		Yamori Y, Taguchi T, Mori H, Mori M on behalf of WHO-CARDIAC Study group
56. Dietary and Neural Factors Involved in Salt-sensitive Hypertension	共	2010年09月		amori Y, Taguchi T, Mori H, Mori M on behalf of WHO-CARDIAC Study group
57. Two Contrasting Canadian Populations Different in Hypertension and Cardiovascular Risks	共	2010年09月		Mori M, Chockalingam A, Hamet P, George F, Yamori Y, On behalf of CARDIAC Study group,
58. High Risks of Hypertension and Metabolic Syndrome in an Indonesian Farming Area	共	2010年09月		Mori M, Mori H, Tatefuji T, Yamori Y and HEART Study group
59. オーストラリア先住民アボリジナルの健康調査結	共	2010年09月		浜田敦美, 森 真理, 田口 崇, 森 英樹, 家森幸男
60. 青年期における食生活改善事業の報告～血中総カロテノイドと生活習慣病関連マーカーとの関連～	共	2010年09月		森 真理, 宮下達也, 稲熊隆博, 村上修子, 家森幸男
61. ポリメトキシフラボノイドであるノピレチンの細胞分化調節作用を介したアディポネクチン産生促進および血管新生抑制効果	共	2010年10月		国政和宏, 太田敏郎, 家森幸男, 池田恵, 倉貫早智, 及川勉
62. 新しいイムノクロマトグラフィーによるエクオール簡易測定法の検討	共	2010年10月		29. 国政和宏, 森 真理, 浜田敦美, 田口 崇, 森 英樹, 服部篤, 宮田雅美, 呉暁紅, 大澤俊彦, 家森幸男
63. 24時間採尿を利用した“食育健診”の高血圧リスク低減効果	共	2010年11月		森 真理, 家森幸男
64. High susceptibility of obese hypertensive SHRSP. Z-Leprfa. IzmDmcr rats to lipid deposition	共	2010年12月		Kunimasa K, Yoshitomi H, Miura C, Mori H, Tsuchikura S, Ikeda K, Gao M, Mori M, Yamori Y

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>2. 学会発表</b>				
in the mesenteric artery.				
65. 自己再生細胞を活性化する抗老化食生活習慣の検討	共	2011年02月		片川まゆみ, 福田昇, 常見明子, 上野高浩, 森 真理, 家森幸男, 松本太郎, 相馬正義
66. Assessment Of Food Education By Urinalysis	共	2011年02月		Mori M, Mori H, Yamori Y
67. メリンジヨ (Gnetum gnemon L.) 種子由来レスベラトロール2量体の血管新生抑制作用	共	2011年03月		国政和宏, 太田敏郎, 谷央子, 加藤榮信, 江口良二, 池田克己, 森 英樹, 森 真理, 立藤智基, 家森幸男
68. 中高生における食育を考える上での健康診断の有用性について (第2報)	共	2011年05月		浜田敦美, 森 真理, 田口 崇, 森 英樹, 家森幸男
69. 全面多層構造の調理器具使用による野菜摂取がビタミンやカリウムの吸収を促進する	共	2011年09月		家森幸男, 森 真理, 森 英樹, 津田謹輔
70. WHO-CARDIAC Studyのデータを用いた食塩感受性昇圧機序の解析	共	2011年10月		田口 崇, 森 真理, 家森幸
71. レスベトロール類縁体を豊富に含むメリンジヨ種子抽出物は血管新生に関連した内皮細胞機能及び腫瘍血管新生を抑制する	共	2012年03月		国政和宏, 太田敏郎, 谷央子, 加藤榮信, 江口良二, 加治和彦, 池田克己, 森 英樹, 森 真理, 立藤智基, 家森幸男
72. ブラジル産プロポリスはSHR, Cg-Leprcp/NDmcrラットのメタボリックシンドローム症状を緩和する	共	2012年03月		国政和宏, 森 英樹, 森 真理, 家森幸男
<b>3. 総説</b>				
<b>4. 芸術 (建築模型等含む) ・スポーツ分野の業績</b>				
<b>5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等</b>				
1. 尼崎市内公立小学校の児童を対象に生活習慣と風邪の罹患状況についてのアンケート調査を実施。好き嫌いのある群の方が有意に風邪の罹患率が高く、中でも『野菜嫌い』と『魚嫌い』の罹患率との関連性を明らかにした。		2005年		
2. ブラジル更年期女性を対象に食事で使う砂糖をパチノスに変えて毎日摂取し、腹部内		2005年		

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
<p>臓脂肪蓄積抑制効果及び血圧低下作用の検討を行った。パラチノース摂取グループでは血圧、腹部内臓脂肪共に有意に低下していた。</p>		2006年		
<p>3. 【携帯電話で食事診断】 カメラ付き携帯電話で栄養指導を受け生活習慣病の改善が可能かを検証</p>		2006年		
<p>4. 【附属中高食育推進プロジェクト①】 生徒による小学生への食育プロジェクト：農水省助成研究（第1回目）</p>		2006年		
<p>5. 【野菜ジュースプロジェクト】 野菜ジュース摂取による生活習慣病のリスク軽減効果の検討（男子高校生対象）</p>		2006年		
<p>6. 【ヨーグルトプロジェクト②尼崎市内の幼稚園】 ヨーグルト免疫賦活効果研究（幼稚園児対象）</p>		2006年		
<p>7. 【風邪の罹患率と小学生の食習慣のアンケート調査】 尼崎市立小学校の児童及び幼稚園児の流行性感染症の罹患率実態調査</p>		2006年		
<p>8. 【上海食育プロジェクト】 上海の小学生に対する使い捨てカメラを使用した食育の検討</p>		2006年		
<p>9. 【ソイプロジェクト②日本】 無塩麹発酵大豆摂取による骨・脂質代謝及び更年期障害の改善効果の検証（日本）</p>		2006年		
<p>10. 【シュガープロジェクト③日本人】 パラチノースによる腹部内臓脂肪蓄積抑制効果および血圧低下作用の検証</p>		2006年		
<p>11. 【ソイプロジェクト①アラビ】 無塩麹発酵大豆摂取</p>		2006年		

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
による骨・脂質代謝の改善効果の検証（ブラジル）				
12. 【国際医療センターとの共同研究プロジェクト②アフリカ】アフリカ・タンザニア共和国ムワンザ地方の食生活現地調査		2007年		
13. 【ヘルシーランチプロジェクト】大豆・魚介類及びGABAを盛りこんだ昼食メニュー介入による勤労男性の生活習慣病リスクの改善		2007年		
14. 【附属中高食育推進プロジェクト②】食堂メニュー改善プロジェクト：農水省助成研究（第2回目）		2007年		
15. 【細胞及び疾患モデル動物による基礎研究】成長期のカルシウム摂取による生活習慣病のリスク軽減効果の検証		2007年		
16. 【シュガープロジェクト④上海】パラチノースによる血圧低下及び脂質代謝に関する検討		2007年		
17. 【スローシュガープロジェクト】新しい砂糖（パラチノースを主成分とするミレニア糖）による生活習慣病予防効果の検証		2007年		
18. 【ヘルシーランチプロジェクト】一日一善バランスの良い昼食摂取による生活習慣病のリスク軽減効果の検討		2007年		
19. 【血栓予防健診】食事とメタボリックシンドロームおよび血栓症に関する特別健診		2008年		
20. 【葉酸プロジェクト：吸収に関する予備研究】葉酸プロジェクト（予備試験）		2008年		
21. 【食育推進プロジェクト健診（2008年）】『ゲムブラ		2008年		

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
ス』の検証と女性の生涯食育プログラムの確立				
22. 【科学研究費補助金 研究基盤A インドネシア現地調査】インドネシアの健康増進のための食事改善		2008年		
23. 【大豆成分による肥満改善プロジェクト】軽度肥満成人男女を対象とした大豆機能成分摂取による体重減少効果の検討試験		2008年		
24. 【スローカロリープロジェクト：カスピ海ヨーグルト】カスピ海ヨーグルト糖負荷試験		2008年		
25. 【科学研究費補助金 基盤研究A オーストラリア/アラムリンガム地区現地調査】オーストラリアアラムリンガム地区での生活習慣病の現状と食習慣との関連		2009年		
26. 【病的血管新生を標的とした癌予防】血管新生を制御する食品成分の探索とその作用機構の解析		2009年		
27. 【アディポネクチン産生促進物質の探索】アディポネクチン産生を促進する食品成分の探索		2009年		
28. 【食生活指導による生活習慣病リスクの改善効果】大学生対象の食生活改善事業		2009年		
29. 【食生活習慣がおよぼす血管内皮前駆細胞機能への影響】食生活習慣がおよぼす血管内皮前駆細胞機能への影響		2009年		
30. 【食育推進プロジェクト（2009年）Ⅰ－6月 女子中高生】中高生対象の食育健診（3年目）		2009年		
31. 【葉酸プロジェクト】女子中高生対象の葉酸強化ランチによる介入研究		2009年		
32. 【食育推進プロジェクト（2009年）Ⅱ－		2009年		

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
10月男子中高生】男子中高生の食育健診				
33. 【フコイダンの免疫賦活効果に関する研究】メカプフコイダン摂取による高齢者の流行性感染症の罹患影響についての検討		2009年		
34. 【みつばち産品プロジェクト】みつばち産品のゲノムプラス効果の生活習慣病遺伝性発症モデルでの検証		2009年		
35. 【科学研究費補助金 若手研究(B) メリソプロジェクト】腫瘍血管新生を標的とした高濃度レスベラトロールオリゴマー含有食品の癌予防効果		2010年		
36. 【疾患モデル動物開発プロジェクト】新規動脈硬化性疾患発症モデルラットの開発研究		2010年		
37. 【血管新生阻害剤探索プロジェクト】血管新生阻害剤の探索研究		2010年		
38. 【野菜を食べようプロジェクト】野菜の摂取量と調理法が尿中カリウム排泄量や血中ビタミン吸収量に及ぼす効果の検証		2010年		
39. 【科学研究費補助金 基盤研究B 共同研究 スリランカプロジェクト】環境要因のコンパートメント化を考慮した、スリランカでの生活習慣病の遺伝疫学研究		2010年		
40. 【食育推進プロジェクト (2010年) I - 6月 女子中高生 (A)対象】ゲノムプラスの検証と女性の生涯食育プログラムの確立：女子中高生(A)対象の食育健診(4年目)		2010年		
41. 【亜麻仁の生活習慣病リスク軽減効果の検討】亜麻仁摂取時		2010年		



研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
のバイオマーカーとして尿中リグナンの分析法を確立し、亜麻仁による生活習慣病リスクの予防効果を検証する				
42. 【スローカロリープロジェクトⅡ】女子中高生対象のスローカロリーによる食育研究		2010年		
43. 【食育推進プロジェクト（2010年）Ⅱ－10月 男子中高生対象】ゲノムプラスの検証と女性の生涯食育プログラムの確立：男子中高生の食育健診(2年目)		2010年		
44. 【食育推進プロジェクト（2010年）Ⅲ－10月 女子中高生(B)対象】ゲノムプラスの検証と女性の生涯食育プログラムの確立：女子中高生(B)対象の食育健診（4年目）		2010年		
45. 【母子栄養改善プロジェクト】母子栄養環境の客観的評価法の開発と食育による生活習慣病の萌芽期予防に関する研究		2010年		
46. 【脂肪肝に関わる遺伝因子のスクリーニング】新規動物モデルを用いた栄養成分による非アルコール性脂肪肝の予防と改善法の開発		2010年		
47. 【科学研究費補助金 基盤研究A インドネシア現地調査Ⅱ】インドネシアの健康増進のための食事改善プロジェクト2010		2010年		
48. 【科学研究費補助金 基盤研究A ブラジル現地調査Ⅰ】世界の代表的な高リスク集団におけるメタボリック症候群の予知、予防栄養学の開発		2010年		
49. 【科学研究費補助金 基盤研究A 俊約遺伝子を持たない集団】WHO-CARDIAC		2010年		

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
Study の保存サンプル再分析（スコットランド地域）				
50. 【アディポネクチン産生促進物質の探索（2010年）】アディポネクチン産生促進化合物の探索研究		2010年		
51. 【メリンジョプロジェクト】腫瘍血管新生を標的とした高濃度レスベラトロールオリゴマー含有食品の癌予防効果（科学研究費補助金 若手研究(B)）		2011年		
52. 【みつばち産品プロジェクト】メタボモデルラットSHR.Cg-Leprcp/NDmcrラットにおけるみつばち産品の抗メタボ効果		2011年		
53. 【血管新生阻害剤探索プロジェクト】血管新生阻害剤の探索研究		2011年		
54. 【食塩感受性プロジェクト】食塩感受性高血圧における交感神経の役割と遺伝子機序の解明を目指す世界データの解析（科学研究費補助金 若手研究(B)）		2011年		
55. 【スリランカ疫学調査】スリランカ住民の生活習慣病予防に関する研究		2011年		
56. 【インド】インド住民の生活習慣病予防に関する研究		2011年		
57. 【母子栄養改善プロジェクト】母子栄養環境の客観的評価法の開発と食育による生活習慣病の萌芽期予防に関する研究		2011年		
58. 【野菜を食べようプロジェクト】全面多層構造の調理器具使用による野菜摂取がビタミンやカリウムの吸収を促進する。		2011年		
59. 【食育推進プロジェクト（2011）女子中高生】ゲノムプラスの検証と女性の生涯食育プログラムの確		2011年		

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等</b>				
立：女子中高生対象の食育健診（5年目）				
<b>6. 研究費の取得状況</b>				
1. 日本動脈硬化予防研究基金 新規	共	2003年		大豆・魚介類栄養を用いた昼食メニュー介入による生活習慣病リスクの改善
2. 日本動脈硬化予防研究基金 新規	共	2004年		大豆・魚介類栄養を用いた昼食メニュー介入による若年者の生活習慣病リスクの改善
3. 厚生労働省国際医療協力研究委託費 新規	共	2005年		国際医療協力における包括的な生活習慣病予防活動のあり方に関する研究
4. 厚生労働省国際医療協力研究委託費 継続	共	2006年		国際医療協力における包括的な生活習慣病予防活動のあり方に関する研究
5. 財団法人 兵庫地域政策研究機構委託費 新規	単	2006年		小児の流行性感染症ならびに生活習慣病の地域対策に関する調査研究
6. (財) 兵庫地域政策研究機構 継続	単	2007年		小児の流行性感染症ならびに生活習慣病の地域対策に関する調査研究
7. (財) 健康管理事業団 新規	単	2007年		新しい砂糖（パラチノースを主成分とするミレニア糖）による生活習慣病の予防効果の検証
8. 厚生労働省国際医療協力研究委託費 継続	共	2007年		国際医療協力における包括的な生活習慣病予防活動のあり方に関する研究
9. 基盤研究（A） 新規		2008年		世界の代表的高リスク集団におけるメタボリック症候群の予知・予防栄養学の開発研究
10. (財) 食生活研究会 新規	単	2008年		ユネスコ関連の世界の大学・国立図書館に寄贈する冊子の印刷出版
11. 基盤研究（A）海外 継続		2009年		世界の代表的高リスク集団におけるメタボリック症候群の予知・予防栄養学の開発研究
12. 小浜市 委託費 新規	単	2009年		元気で長生き健康調査
13. 基盤研究（A）海外 継続		2010年		世界の代表的高リスク集団におけるメタボリック症候群の予知・予防栄養学の開発研究
14. 基盤研究（A） 継続		2011年		世界の代表的高リスク集団におけるメタボリック症候群の予知・予防栄養学の開発研究
<b>学会及び社会における活動等</b>				
年月日	事項			